

問1 ユーラシア大陸北部の気候と植生の関係について、冷帯（亜寒帯）と寒帯の違いを説明した文として正しいものはどれですか。なお、どちらの気候区も年間の降水量は比較的少ないものとします。（2018年 埼玉県公立入試 類似）

1. 冷帯は夏に気温が上がるためタイガと呼ばれる針葉樹林が広がるが、寒帯は夏も気温が低いため樹木が育たない。
2. 冷帯は降水量が多いため広葉樹の森林ができるが、寒帯は乾燥が激しいため樹木が育たない。
3. 冷帯は冬の気温が氷点下にならないため樹木が育つが、寒帯は一年中氷点下のため地衣類しか育たない。
4. 冷帯は永久凍土が存在しないため大きな樹木が育つが、寒帯は地下に永久凍土があるため草木しか育たない。

問2 西アフリカのギニア湾に面したコートジボワールやガーナ、および東南アジアのインドネシアなどの、赤道に近い低緯度地域で世界的な生産量が多い商品作物を答えなさい。（2026年 広島県公立入試 類似）

1. コーヒー豆
2. ブドウ
3. カカオ豆
4. 茶

問3 地中海東岸からペルシャ湾周辺、さらにアフガニスタンに至る西アジアの地域に見られる自然環境と生活文化の関連について述べた文として、最も適切なものはどれですか。（2025年 神奈川県公立入試 類似）

1. 冷帯から寒帯に属する地域が多いため、防寒性の高い厚手の毛皮を日常的に着用する。
2. 乾燥帯の地域が多く、水や草を求めて家畜とともに移動する生活が見られる。
3. 肥沃な温帯の土地が広がり、主食としてトウモロコシの栽培が盛んに行われている。
4. 一年を通じて高温多湿なため、風通しの良い高床の住居が一般的に普及している。

問4 北アフリカから中央アジアにかけて広がる広大な乾燥地帯において、自然に生えるわずかな水や草を求めて、羊やラクダなどの家畜と共に移動しながら飼育を行う生活形態を何と呼びますか。（2016年 鹿児島県公立入試 類似）

1. 焼畑農業
2. 定住農業
3. 遊牧
4. 放牧

問5 世界の宗教分布に関する統計資料において、ロシア全域や東ヨーロッパ、バルカン諸国が同一の宗教分布域として示されている場合、その地域で共通して信仰されているキリスト教の宗派について、正しい説明はどれですか。（2019年 兵庫県公立入試 類似）

1. イタリアやフランスなど、南ヨーロッパを中心に発展したカトリックである。
2. 中東や北アフリカを中心に広がり、中央アジアでも信仰されているイスラム教である。
3. 北ヨーロッパやアメリカなどで多く信仰され、個人の信仰を重視するプロテスタントである。
4. 東ローマ帝国の文化を継承し、ロシアやギリシャなどで厚く信仰されている正教会である。

問6 東南アジアの島嶼部に見られる伝統的な住居の工夫について、その地域の自然環境と関連付けて述べた文として正しいものを次の中から選びなさい。（2021年 岩手県公立入試 類似）

1. タイガと呼ばれる針葉樹林が広がっているため、豊富な木材を利用した丸太づくりの住居に住んでいる。
2. 降水量が極めて少なく乾燥しているため、窓を小さくし、日干しレンガで家を建てている。
3. 広大な草原が広がっているため、家畜の移動に合わせて簡単に解体・組み立てができる住居を用いている。
4. 年中高温多湿であるため、高床式住居にして風通しを良くし、湿気や暑さへの対策としている。

問7 サバナ気候において、一年の中で降水量の多い雨季と、ほとんど雨が降らない乾季が明瞭に分かれる理由として、最も適切な説明はどれですか。（2019年 静岡県公立入試 類似）

1. 大陸内部に位置しており、海から遠いために一年を通じて乾燥した季節風の影響を強く受けるため。
2. 上昇気流が発生しやすい赤道低圧帯と、乾燥した下降気流が発生する中緯度高圧帯の影響範囲が季節によって移動するため。
3. 一年中、赤道低圧帯の影響のみを強く受けることで、毎日午後にはスクールが発生し続けるため。
4. 寒流の影響で空気が冷やされ、上昇気流が発生しにくくなる時期が半年間続くため。

問8 冷帯（亜寒帯）のシベリア地方において、建物の熱による地盤沈下を防ぐために高床式の住居が建てられる原因となっている、地下深くまで一年中凍ったままの土壌を何といいますか。（2016年 鹿児島県公立入試 類似）

1. 泥炭
2. 永久凍土
3. ツンドラ
4. タイガ

問9 北欧付近などの高緯度地域に見られる冷帯（亜寒帯）の気候的特徴について、統計データに基づいた説明として最も適切なものはどれですか。なお、この地域の典型的な地点では、1月の気温がマイナス10度近く、7月の気温が12度程度、年降水量は478.5mmとなっています。（2023年 福岡県公立入試 類似）

1. 冬の気温が氷点下まで下がり、夏と冬の気温差（年較差）が大きい。
2. 一年中気温が高く、スコールと呼ばれる激しい雨が毎日降る。
3. 年平均気温は氷点下となり、一年を通して樹木が全く育たない。
4. 夏は乾燥して日差しが強く、冬に一定の降水がある。

問10 熱帯の高温多湿な気候に適しており、その根からとれるデンプンがタピオカの原料としても利用される、赤道周辺の地域で重要な食糧源となっているイモ類を選びなさい。（2023年 愛媛県公立入試 類似）

1. ジャガイモ
2. ぶどう
3. キャッサバ
4. 小麦

問11 北アメリカ北部の高緯度地域において、年平均気温が約10度と低く、冬の気温が氷点下まで下がるという気候条件が生じる主な理由と、人々の生活への影響の組み合わせとして正しいものはどれですか。（2016年 千葉県公立入試 類似）

1. 赤道に近く上昇気流が発生しやすいため年間を通じて雨が多くなり、高床式の住居が普及している。
2. 高緯度で太陽の光を受ける角度が低いため冬の寒さが厳しくなり、住宅には高度な断熱材や暖房設備が必要となる。
3. 標高が極めて高い山岳地帯であるため空気が薄く、酸素ボンベを携帯して移動することが一般的である。
4. 大陸の西側に位置し、寒流の影響で夏に気温が上がらないため、一年中厚手の毛皮を着て生活している。

問12 北半球の東アジアで見られる温帯気候の特徴について、同じ温帯に属する「地中海性気候」と比較した説明として最も適切なものはどれですか。なお、比較対象となる東アジアの地点は、7月の平均気温が約27度、1月の気温が0度近く、夏季に降水量が集中する統計を示しています。（2024年 富山県公立入試 類似）

1. 地中海性気候と東アジアの温帯気候はどちらも北半球にあり、どちらも1月に最も気温が高くなる。
2. 地中海性気候は冬に気温が著しく下がるのに対し、東アジアの温帯気候は一年中温暖である。
3. 地中海性気候は季節風の影響で夏に雨が降るが、東アジアの温帯気候は偏西風の影響で冬に雨が降る。
4. 地中海性気候は夏に乾燥するのにに対し、東アジアの温帯気候は夏に降水量が多くなる。